

### 第三章 研究開発の経緯と内容

#### A スーパーサイエンスハイスクール文化講演会

##### (1) 研究開発の課題（研究概要）

卓越した業績を残した科学者による講演会を実施して、生徒の意識・意欲の向上に役立つようとするのが本事業の目的である。また、地域の中学校の生徒・教員の代表者や高校教員が参加することで、一宮高校SSHについての地域理解を促進することも目的としている。

##### (2) 研究開発の経緯

世界の第一線で活躍する研究者を招き、体験談を伺うことで研究の魅力や困難に立ち向かう姿勢を学ぶ。“道を知る”キャリア教育の場として設定した。



講演の様子

##### (3) 研究開発の内容

###### ア 仮説（ねらい、目標）

生徒の視野を広げるとともに科学への憧れや意欲・関心を高めることができる。適正なキャリア形成などの「自己評価力」を高める。

###### イ 研究の内容・方法

対象 本校 生徒 1080名 教員 50名

日時場所 12月4日(金) 一宮市民会館大ホール

###### 実施内容

講演 演題 「再生医療の現在と未来」

講師 株式会社ビジョンケア 代表取締役社長 高橋 政代 先生

内容 講演では「異なる領域にまたがって深い知見を身に付けることにより、広い視野や柔軟な発想を養うことができる、いわゆる『ダブルメジャー』の考えに基づき、常に20年後、50年後の未来を考えて行動することが重要だ」と語られた。生徒達にとって、1つのことを深く追究していくだけではなく、多角的な視点から物事を追究していくことで、新しい発見が生まれることを再認識する機会となった。また、講演会後には、高橋先生と直接話をしたい生徒が集まり、熱心な質疑応答が行われた。

##### ウ 検証（成果と反省）



(1) 講演の内容に興味・関心を持ってましたか？	52	38	8	4
(2) 講演の内容は理解できましたか？	36	49	12	3
(3) 講演の内容に満足できましたか？	53	40	6	1
(4) 講演の内容についてさらに深く調べてみたいと思いますか？	28	46	22	4
(5) 講演の内容は将来の役に立つと思いますか？	53	41	5	1
(6) 講師の話をしっかりと聞くことができましたか？	35	45	16	4
<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> 大体そうである <input type="checkbox"/> あまりそうではない <input type="checkbox"/> いいえ (96)				

###### 生徒の感想から

- ・研究内容の話だけでなく、研究をする際の心持ちや、プロセスの大切さを学ぶことができ、これからの自分の考え方に活かしていきたいと思った。
- ・自分の専門分野とは違う分野からアイデアを見つけるという講師の方の考え方がとても参考になった。これから生きていくためのヒントがたくさんあった。

アンケートからは、生徒の興味・関心が高く、将来の役に立つと答える生徒が多いことが分かった。講演会後の質疑も多く、「未来を見据えた考え方」や「情報の捉え方」について深く考える機会となった。

